

口に才ある者は 多く事に拙なり

— 間居筆録 —

伊藤東涯(寛文10年～元文元年)

徳川中期の儒者。幼年より父の教育を受け長じては家学を以て己が任務とし、終身民間にあって研学と著作とに従事し、傍ら家塾において多くの子弟を教養した。

— 学者澤田総清解説 —

◆「口達者な者は、大体実行が伴わないということを誡めた句である。

口才のある者は弁説がうまいので議論に聞く価値あるものがあっても、それは議論のみで実行が必ず伴うものではない。孔子は多言を誡めているが、それは実行の不一致を誡めたのである。

それ故むしろ実行が先で言は後にあることを望む。」

◆ふつう“口先上手・口八丁手八丁”等といわれるようにその言に乗せられてしまう場合が多い。しかし、よくよく心眼でとらえてみると薄っぺらな一過性の無いことがよく見える。

◆年の功と共に経験を重ね修養を積んでくると心眼が養われて本質がよく見えてくるものである。

それすら悟らず無知のまま口才にうぬぼれていると“口は災いの元”とあるように人を傷つけ己の信用を失するのそこが元の原因であることを肝に命ずべきである。



IT導入は次のステップへ

今やIT抜きには業務改革は語れません。しかし、『IT化』と叫ばれてグループウェアの導入が盛んだったのは一昔前のような気がします。グループウェアを導入してもたらされた物は、稟議書のワークフロー、会議室予約、予定表管理・・・等、それはそれで煩わしい手続きは楽になったかもしれませんが、果たして『利益の出るシステム』だったのでしょうか？

ERPも然り、『グローバルスタンダード』を無理やり日本の商習慣にねじ込んだ為に、入り口と出口の部分で表面に現れない大変な労力が発生しています。

『グループウェアやERPを導入する事で業務改善が達成される』という“ITベンダーの嘘”も、もう通用しません。では、既に導入してしまった『動かないシステム』をどうすればいいのでしょうか？

ITの導入で先ず考えなければならないのは、『部署の役割をITの導入によってどのように変えたいのか』でしょう。導入したシステムが“動かない”のは、部署の役割をそのままにしてITを導入してしまったからです。各部署が『本当にやるべき業務は何か』を考え、ITに変えられる仕事はITに任せて、思い切って従来の業務体系から人も仕事も外してしまわなければ、成功への道のりは遠いでしょう。

社内のIT化が一巡した今、CADやERPのような業務改善の為にIT導入の段階を過ぎ、SCM(Supply Chain Management)やCRM(Customer Relationship/Resource Management)といった取引会社間との関係を強化し、顧客満足度を高める為にIT化が始まっています。その背景に有るのは、インターネットとブロードバンドの加速度的な普及です。今後、これらのITを如何にして活用出来るかが、重要なポイントになります。



ホームページ

<http://www.horiuchi.co.jp>

堀内機械

本社:大阪府堺市老松町1丁37番地
TEL 072-241-1601 FAX 072-280-2026
鳳工場:大阪府堺市上101番地
TEL 072-273-8180 FAX 072-260-2007
京都工場:京都府綾部市城山町10番地
TEL 0773-43-1500 FAX 0773-40-2011

東京営業所:東京都千代田区外神田5-2-2セイキ第1ビル4F
TEL 03-5688-1991 FAX 03-5688-7576
大阪営業所:大阪府堺市竜神橋町1-2-16山久ビル3F
TEL 072-221-5005 FAX 072-225-2261
名古屋営業所:名古屋市中東区本郷3丁目139番地 ARJ名古屋ビル7F
TEL 052-775-0271 FAX 052-769-1011

北関東営業所:群馬県太田市飯田町1263 三栄ビル7F
TEL 0276-48-8461 FAX 0276-48-8460
南関東営業所:神奈川県海老名市中央2-9-50海老名プライムタワー7F
TEL 0462-35-3521 FAX 0462-36-1140
広島営業所:広島市中区寺町5番12 坂東ビル2F
TEL 082-234-7916 FAX 082-503-3483